

## 多文化共生にかかるとる区・局室における特徴的な取組み

『大阪市外国籍住民施策基本指針』にかかるとる事業より

### 《区役所での取組み》

#### 外国にルーツをもつ子どもに関する子育て支援

- ・子育てを応援する担い手育成・地域連携事業（西淀川区）

事業の一環として、多国籍文化との交流講座を開催し、地域の子育て層の親子と交流する場を提供。「多文化子育て支援ガイドブック」を活用した、講座の開催。参加者が主体的に母国語での絵本の読み聞かせや、手遊びを実施。

#### 外国にルーツをもつ子どもの学習支援

- ・外国籍児童生徒サポート事業（中央区）

中央区内の大阪市立小学校・中学校に在籍する外国籍及び外国にルーツのある子どものうち、学習面で特に日本語の支援が必要とされる児童生徒に対し、教職員と連携しながら具体的な教科学習に必要な日本語の力を身につけるための適切な支援を行うため、有償ボランティアとして外国籍児童生徒サポーター（大学生・他の学校支援ボランティア等）を配置する。

■外国籍児童生徒サポート事業の関係図



#### 外国籍住民が地域活動に参加しやすい環境づくり

- ・生野区地域福祉アクションプラン推進支援事業（生野区）

住民と行政等の関係機関が協働して地域の福祉課題の解決を図るため、区レベルでの「生野区地域福祉アクションプラン推進委員会」を設置し、具体の活動を推進している。

その中で、課題別の推進チームとして外国籍住民課題を協議するチームを結成し、外国籍住民も参加し積極的に具体的な活動内容を協議・推進している。

#### 外国籍住民への防災に関する情報提供

- ・多言語版浪速区防災マップの配布（浪速区）

避難所や津波避難ビルがー覧でわかり、また、イラストを多用し、地震への備えやいざというときの行動をわかりやすく解説した、多言語版（日本語・英語・韓国語・中国語）地域防災マップを作成し、全戸配布するとともに区役所において外国籍住民に対して配布することによって、防災に関するより効果的な情報提供を図る。

## 《局・室での取組み》

タブレット端末やトリオフォン等を活用した多言語対応が進んでいる。

- ・市営地下鉄御堂筋線梅田駅ほか 11 駅でタブレット端末を利用した 5 カ国語（英語・中国語・韓国語・ポルトガル語及びスペイン語）での三者通話による翻訳サービスを開始。（交通局）



- ・大阪市を訪れる外国人観光客や、市内に居住する留学生など、日本語を介してのコミュニケーションが困難な方からの 119 番通報や災害現場の対応を円滑に行うため、24 時間体制での 5 ヶ国語（同上）対応の電話同時通訳サービスを導入。（消防局）
- ・大阪府と共同で外国籍住民エイズ電話相談（英語、タイ語、フィリピン語、スペイン語、ポルトガル語の 5 言語）を実施。トリオフォン（三者通話）を利用した通訳サポートサービスを実施。（大阪市保健所）